

讃岐ひと模様

子供たちと廃材アート



高松市から市内の保育所
に「芸術士」として派遣さ
れる県内の芸術家12人が4
月から、子どもたちと一緒
に企業から出る廃材を使っ
て創作活動に取り組む。発
案した彫刻家の太田絵美子
さん(28)は「捨てられるも
ので作品をつくり、地域や
地域の人たちとのつながり
を広げていきたい」と話
す。

2009年度に始まった
「芸術士派遣事業」。当初
は画用紙に絵を描いてもら

うなど一般的な方法が多か
ったが、趣向を凝らした試
みも増えてきたという。太
田さんも保育所で飼ってい
たカイコの繭からとった糸
を染めたり、雑木林を創作
活動の場所にしたりしてき
た。「そこでしかできない
ことにこだわってきた」

「マンネリ化せず、一緒
に目的を探しながら楽しめ
る」と目をつけたのが廃
材。昨年12月から市内でピ
ラをまいて協力を呼びかけ
たところ、くつ下工場から
出た生地や工務店の木材な
ど15種類が集まった。出来
上がった作品は提供者にも
楽しんでもらう予定だ。

廃材の提供は、派遣事業
を請け負っているNPO法
人アーキペラゴ(高松市兵
庫町、087・811・7
707)へ。(吉田海将)